



1 完成した「くにももたん」の puzzles (左) と動物のしりとり puzzles (右) を披露する参加者のみなさん
2 機材を使って puzzles を製作する参加者

町産木材を使ってオリジナルおもちゃづくりに挑戦

木育セミナーが1月から3月まで4回にわたって道の駅国見あつかしの郷で開催され、町内外から16人が参加しました。

セミナーでは、有限会社白井木工所の白井貴光代表取締役を講師に迎え、国見町産の杉材を使ってオリジナルの puzzles 作りに挑戦。puzzles のデザインから機材を使用しての加工・製作まで一連の工程を、参加者自らが行いました。

全4回のセミナーを経て、個性あふれる2つの puzzles が完成。完成した puzzles は道の駅のこども木育広場「つながる〜む」に設置され、子どもたちに大好評の親しまれるおもちゃになりました。

道の駅に木組みのモニュメントが誕生

道の駅国見あつかしの郷に「木組みのモニュメント」が設置され、お披露目式が3月29日に行われました。

お披露目式では、モニュメントを制作した恒栄資材株式会社の高橋敦営業本部常務取締役と福島県木材協同組合連合会の宗形芳明専務理事から木製の銘板が太田久雄町長に手渡され、太田町長が「道の駅来場者に木の良さをPRして、町の活性化につなげていきます」と謝辞を述べました。

モニュメントは、新国立競技場を設計した隈研吾設計事務所がデザイン。県産木材が使用され、見て・触れて木のぬくもりを感じることができる意匠性の高いモニュメントは、道の駅の建物や周囲の景観とも調和し、来場者に木の魅力を伝えています。



1 道の駅に設置された隈研吾設計事務所デザインの木組みのモニュメント



2 高橋営業本部常務取締役(左)と宗形専務理事(右)から木製の銘板を受け取る太田町長(中央)

道の駅に石造のベンチを贈呈

ライオンズクラブ国際協会創立100周年記念レガシープロジェクトの一環で、梁川・保原・国見・霊山・伊達町の5団体のライオンズクラブから道の駅国見あつかしの郷に石造のベンチ3基が贈呈され、贈呈式が4月18日に行われました。

贈呈式では、斎藤政利ゾーンチェアパーソンから太田久雄町長へ目録が手渡され、太田町長が「ベンチを寄贈いただいた広場は、連日多くの家族連れで賑わう場所。大変ありがたいです」と謝辞を述べました。



道の駅来場者の憩いの場となることを願って…



桃の花に囲まれて
永遠の愛を誓う。

第1号

道の駅 de ウェディング



地域の人々とともにバルーンパークで祝福



道の駅のレストラン桃花亭で行われた披露宴

道の駅国見あつかしの郷で4月22日、初めての結婚披露宴が行われました。式を挙げたのは、三春町の富山和明さんと禎枝さん。二人は仕事を通じて伊達市で出会い、昨年7月に結婚。二人にとってゆかりある伊達の地で結婚式をしたいという思いから、道の駅での結婚式を決めました。

挙式は川内地区の桃畑で行われ、青空の下、二人は家族や友人らに囲まれながら愛を誓い合いました。会場には地域のみなさんも駆けつけ、ペーパーシャワーやバルーンパークで二人を祝福しました。また、披露宴は道の駅の華やかに行われ、道の駅の来場者からも祝福の拍手が送られました。

二人が出会った伊達の地で— 新婦/禎枝さん

伊達市に地域おこし支援員として赴任して迎えた初めての春、町中が桃の花のピンク色に染まる景色に感動して、『二人が出会った伊達の地で、桃の花に囲まれながらみなさんと幸せを分かち合いたい!』と思い、道の駅で結婚式をしようと決めました。今年は桃の花の開花が早くて心配でしたが、花も待っていてくれて、地域のみなさんにもお祝いしていただいて、まさに感無量です!

新郎♡新婦の声



新郎 富山和明さん 新婦 禎枝さん